

子育て支援センター



「ひまわりのたね」だより

【問合先】子育て支援課 子育て支援係 ☎65・0081



梅野よしみ 保育士

■「やっぱりいい一年でした。」

今年も最後の月を迎えます。最近のお母さんたちの話題は、来年の四月からの幼稚園や保育所の入園のこと。入園できなかつたらに加え、子どもと離れることへの不安。そんな中、今月から保育所の申し込みが始まります。その不安を少しでも和らげるように話を聞いたり、友だちの中で成長してくれらること等を話しているところです。何より三月まで子どもと、心おきなく遊んで欲しいと思っています。

先日、中庭で三歳の子と一枚二枚：と落ち葉を競争するかのよう集めていた時、手の中の枯れ葉をギュッと握ってみると「あ！」と言って真似をして「きこえた？」「なんの音？」とうれしそうに言いながら枯れ葉の音遊びをしました。又ある時は、三歳と四歳の子と私で鬼ごっこをした時に、転ばないように気をつけていたのですが、二人の子の真剣さについての間にか夢中になり、終わると三人でハアハア言いながら笑っていました。またこうして遊べるようになって本当にうれしく思います。

お部屋では、トンカチ・トンカチと

小さな子の部屋の増築工事の音。親子も私たちも気になり少し戸を開け盗み見をしました。工事が完了すれば利用できる人数も増えるのでみんなで楽しみにしています。

今年、緊急事態宣言による閉館等で辛い思いをしましたが、その分日常の中で些細なことへの感謝に気づかされた一年でもありました。今年もたくさんの方にお世話になりました。今年もたくさんありがとうございました。どうぞよいお年をお迎えください。



▲久しぶりの焼き芋パーティー みんな楽しみました！

子育て支援センター 「ひまわりのたね」

- 【開館】月～金曜日 9～16時
- 【場所】総合福祉センター 「ひまわりの里」内
- 【対象】0歳から未就学の子どもとその保護者
※利用には保護者の付き添いが必要です
- 【利用料】無料



人権だより

【問合先】桂川町人権センター ☎65・1187

人権イメージキャラクター KENまもる君



人権週間



人権イメージキャラクター KENあゆみちゃん

■「人権パネル展」を開催します！

インターネット上での人権問題について、よく耳にする言葉にインターネット・リテラシー（ネット・リテラシー）という言葉があります。この言葉はインターネットの情報や事象を正しく理解し、適切に判断できる能力という意味です。

人権週間において、桂川町では「ネット社会と反差別」理解するためのブックガイド」というテーマで「人権パネル展」を、12月17日まで庁舎1階ロビーで開催しています。

内容は、平成29年に桂川町市民講座で講演いただいた川口泰司さんなど人権問題を学ぶための基本となる図書を解説付きで紹介しています。ネット社会と差別についてのさまざまな知識や意見に触れて、自分自身のこととして考える機会になればと思います。

そして、一人ひとりの心の中に、人権問題についての正しい知識と適切な判断ができるための基礎を育む手助けができるよう啓発活動を続けたいと思います。

■北朝鮮人権侵害問題啓発週間
12月10日(金)～16日(木)

拉致被害者のうち、5人は平成14年10月に帰国が実現しましたが、未だ拉致されたままで帰国できない人たちがたくさんいます。その帰りを待つ家族の胸中は計り知れません。

もし、自分の家族が拉致されたら・・・他人事ではありません。